

北九州市の地域防災力向上のためのアクションプラン ～産官学民連携 防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』～

提案者：明治学園中学校・高等学校 自然災害と防災・減災チーム

プロジェクトの目的(解決したい課題など)

近年日本では自然災害が多発しており、従来から自然災害が少ないと言われていてきた北九州地域においても他人事とは言えない。そうした中、いざという時のために、北九州地域の「地域防災力」向上を図ることは急務である。

本プロジェクトは、地域防災力向上のための啓発活動を、産官学民連携 防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』として実施し、このプランを日本全国への普及を図ることを目的とする。

関連するゴール

4・11・17

活動概要

活動①

防災・減災意識向上のためのシンポジウム企画・開催

活動②

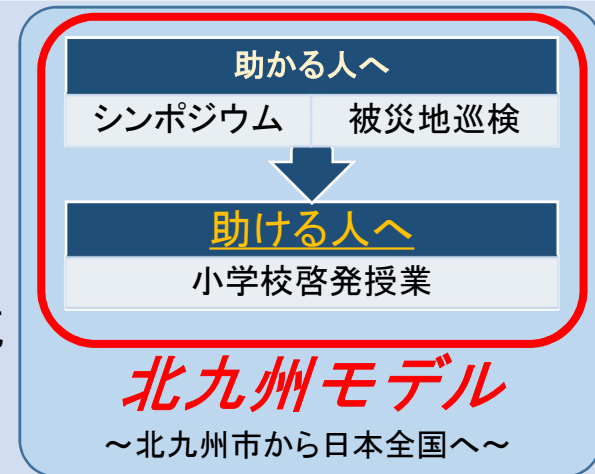
防災・減災意識向上のための被災地巡検企画・実施

活動③

防災・減災意識向上・普及のための小学校啓発授業実施

活動④

防災・減災意識向上のための新規啓発プラン考案・実施



成果・数値目標

防災・減災意識向上のための啓発活動 延べ参加高校・大学数10校 など

北九州SDGsクラブ プロジェクトチーム 実施計画書

提案者名	明治学園中学校・高等学校 自然災害と防災・減災チーム
プロジェクト名	北九州市の地域防災力向上のためのアクションプラン ～産官学民連携 防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』～

1. プロジェクトの概要

① 目的 (解決したい課題など)	近年日本では自然災害が多発しており、従来から自然災害が少ないと言われてきた北九州地域においても他人事とは言えない。そうした中、いざという時のために、北九州地域の地域防災力向上を図ることは急務である。 本プロジェクトは、地域防災力向上のための啓発活動を、産官学民連携 防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』として実施し、日本全国への普及を図ることを目的とする。
② 達成したい SDGs のゴール	4「質の高い教育をみんなに」 11「住み続けられるまちづくりを」 17「パートナーシップで目標を達成しよう」
③ 具体的な活動内容	活動1 防災・減災意識向上のためのシンポジウム 講師を招聘し、シンポジウムを実施する。また住民参加型のパネルディスカッションを実施し、いざという時のための交流促進を図る。(年3回)(明治学園または公共のホール) 活動2 防災・減災意識向上のための被災地巡検 熊本県益城町もしくは福岡県朝倉市など近年自然災害が発生した地域を高校生・大学生で訪問し、被災地の「今」を体感する。(年2回)(益城町・朝倉市など) 活動3 防災・減災意識向上・普及のための小学校啓発授業 活動1・活動2で受動的に学んだ防災・減災に向けての知識をより定着させるために、主体的に啓発授業を考えて実施する。(各年度の後半に実施)(北九州市内の小学校) 活動4 防災・減災意識向上のための啓発プラン プロジェクト参加団体が新しいプランを協働で作成し実施。 また、防災・減災意識向上を測定するための指標の検討
④ 活動による成果	シンポジウム参加者の防災・減災意識向上および参加者からの発信 被災地巡検参加者の防災・減災意識向上および参加者からの発信 小学校啓発授業参加者の防災・減災意識向上および小学生から家族への防災・減災意識の広がり 以上のように参加者のみならず、そこからの拡散が期待できる。また、参加者同士の交流が促進され、「共助」に必要な「繋がり」を形成することができる。
⑤ 数値目標	防災・減災意識向上のための啓発活動 延べ参加高校・大学数 10校 防災・減災意識向上のためのシンポジウム 年間参加者数 200名 防災・減災意識向上のための被災地巡検 年間参加者数 50名 防災・減災意識向上・普及のための小学校啓発授業 年間実施校数 10校
⑥ 資金・物資計画	シンポジウム開催時の講師謝金・交通費 被災地巡検実施時の交通費および被災地の謝金 小学生向けの啓発授業実施のための小道具費用

2. 参加メンバーへの期待

① 参加してほしいメンバー	防災・減災意識向上のために協働して、一緒に企画・運営・募集に取り組んでいただける高校・大学。 高校生・大学生の活動に指導・支援・協力していただける団体。 防災・減災意識啓発の重要性を伝えるため、報道関係（メディア）にも参加いただき、報道からも市民の啓発を促したい。
② 想定しているメンバー数	特になし
③ メンバーへの期待	このプランを最終的には『北九州モデル』として全国へ普及させることを試みたいと考えている。したがって、全国に拠点をもつ企業にも参加いただきたい。

3. 実施スケジュール（概要）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
活動1	初回会議	○第1回 シンポジウム (4月16日付近)					○第2回 シンポジウム (9月1日付近)				○第3回 シンポジウム (1月17日付近)	
活動2	初回会議			○第1回 被災地巡検 (梅雨前くらい)					○第2回 被災地巡検 (11月5日付近)			
活動3	初回会議						○小学校 2学期以降 (各小学校との交渉による)					
その他												▲ 【必須】 活動報告書の 提出 (3月末)

※活動が複数ある場合は、活動1、活動2…として記載してください

※スケジュールの詳細な資料がある場合は、別途ご提出ください。

4. その他特記事項

① その他特記事項	<p>地域防災力向上のために、若者世代の大学生・高校生が協働することが重要であると考えています。大学生・高校生の積極的な参加をお待ちしております。</p> <p>基本的な展開イメージとして</p> <p>①シンポジウムへの参加 → 参加者の意識向上・学校内での普及 ②被災地巡検への参加 → 参加者の意識向上・学校内での普及 ③小学校への啓発授業 → 小学生と保護者の意識向上 ④企画・運営に関わる高校生・大学生 → より高いレベルでの意識向上</p> <p>この基本的な流れを水平展開（実施する高大の増加・小学校の増加）が目的です。これらをサポートしてくださる企業・団体の参加をお待ちしております。</p>
-----------	---

5. 連絡窓口

企業・団体名	学校法人 コングレガシオン・ド・ノートルダム 明治学園中学校・高等学校
部 署	SGH 推進事務局（今年度まで）：来年度以降はこのプロジェクトが発足した場合には、『SDGs 推進部（仮称）』新規部署を新設予定
担当者名	佐藤高行
電話番号	093-881-2861
メールアドレス	sato-takayuki@meijigakuen.ed.jp